

人とつながる 豊かな心を育む 未来にひろがる はむらの学び

はむらの 教育



富士見小学校
はむらっ子広場
(放課後子ども教室)

カシオ計算機株式会社 × 羽村市

ミニシュロほうきづくり体験

富士見小学校はむらっ子広場(放課後子ども教室)で、クラフトワークショップ「ミニシュロほうきづくり」を開催しました。

この事業は、「地域連携による子供の創造性と協調性を育むクリエイティブ体験事業」の一環として、身近なものを使い、生きる力を育み、創造力の向上を目的としてカシオ計算機株式会社が企画運営をし、羽村市主催で市内小学校施設を使用して実施したものです。



市公式サイト

特集

P2・3 生涯学習推進課
はむらっ子広場 紹介します

No. 116

令和8年(2026)
7月1日発行

編集・発行/羽村市教育委員会 〒205-8601 羽村市緑ヶ丘5-2-1 TEL042-555-1111 FAX.042-578-0131
市公式サイトURL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/> E-mail:s700000@city.hamura.tokyo.jp

特集

はむらっ子広場

紹介します

子供たちが放課後の時間を安心して楽しく過ごし、自主的な活動ができるよう、小学校の施設を利用して放課後子ども教室「はむらっ子広場」を実施しています。「はむらっ子広場」は、誰でも参加することができ、地域のボランティアや子供たちの見守りを行う指導員の下、安心して活動できる場です。

※学童クラブとは異なり、児童をお預かりするものではありません。御利用には事前登録が必要です。

安全・安心の居場所で、 子供たちの成長を支援

放課後子ども教室は、文部科学省が推進する「放課後子ども総合プラン」に基づき、羽村市が行っている事業です。市では、「はむらっ子広場」の名称で親しまれています。

「はむらっ子広場」では、学校が終わったあと、学校内の施設（教室や体育館、校庭）で、学習やスポーツ、手芸や工作など、子供がやりたいことを自主的に行っています。

実施校の児童は、学年や保護者の就労有無にかかわらず、誰でも登録・参加することができます。

「はむらっ子広場」に参加したのちに、学童クラブに参加する子供もいます。

活動の主役は子供たち

「はむらっ子広場」では、子供たち一人一人がその日に行うことを考えて、活動しています。

宿題などの学習、校庭や体育館でのボール遊び、室内でのお絵かきや手芸、工作など、子供自身が興味関心のあることをして過ごします。

まずは、遊ぶ時間をたっぷり取るために、先に宿題をするよう促し、季節のイベントに合わせた活動を提案していますが、誰とどんな遊びを行うかは、子供次第です。



地域全体で子供を育てる

「はむらっ子広場」は、地域の大人の見守りの下、実施しています。

保育園の教員だった方、PTAなどで子供の育成に関わっていた方、子供と触れ合うことが好きな方など、幅広い年代の指導員が、運営に関わっています。ボランティアとして子供たちと一緒に遊ぶなど、活動をサポートしてくださる方もいます。

また、地域団体や地域企業の協力による遊びも行っていました。

令和6年度からは、日野自動車株式会社羽村工場（現、トヨタ自動車羽村株式会社）による「ペットボトルロケット体験」を実施し、毎回たくさんの子供たちが参加しています。

令和8年度は、カシオ計算機株式会社の協力を得て、ミツロウキャンドルづくりやシュロほづきづくりなどのクラフトワークショップを実施する予定です（すでに実施済みの広場もあります）。

地域の様々な大人が関わり、地域企業の協力を得る中、子供たちを中心とする世代を超えた交流、幅広い地域のコミュニティ形成が実現しています。

子供たちの「生きる力」を育成

「はむらっ子広場」では、異学年の子供同士が遊び、交流しています。様々な学年の子供が多数参加しており、大人とも交流する中で、協調性が育まれ、新しい活動に挑戦する意欲も育まれています。

子供たち一人一人が自分のペースで「生きる力」を身に付けられる場として機能しています。

放課後子ども教室「はむらっ子広場」

実施日 週2日（富士見小はむらっ子広場は週3日）

時間 授業終了後から 夏時間（4月～9月）…午後5時まで

冬時間（10月・2月・3月）…午後4時30分まで、（11月・12月・1月）…午後4時まで

活動内容 宿題などの学習、オセロなどのボードゲーム、折り紙や牛乳パックなどを使った手芸・工作、野球やサッカーなどのボール遊び。ハロウィンやクリスマスの飾り付けを行う広場もあります。

活動場所 放課後の教室や体育館、校庭

参加方法 小学生は誰でも参加できます。ただし、緊急時の保護者への連絡などのため事前に登録が必要です。

参加費 無料

★主任指導員へのインタビュー★

富士見小はむらっ子広場

Q 普段どのような活動をしていますか？

A まず最初に「もくもくタイム」として、15分間、宿題や読書に取り組み、心身を落ち着かせる時間を設けています。「もくもくタイム」終了後は、自由遊びの時間となり、はむらっ子広場主催のイベント（「カレンダー作り」や「記録に挑戦！」など）を行ったり、校庭や室内で遊んだりして過ごします。

Q お子さんの様子を教えてください。

A 「富士見小はむらっ子広場」は、令和8年度から民間事業者が運営しています。新しくなった、はむらっ子広場では、初めて実施するイベントに興味をもち、友達と誘い合って参加する様子が見られます。また、身体を動かして遊ぶことが大好きな子供たちが多く、外遊びの終了後には「もっと遊びたい。」という声が多く聞かれます。

Q 一言PRをお願いします。

A 様々な学びと遊びの機会を用意しています。たくさんのお友達が遊びに来るのを楽しみに待っています。



▲富士見小はむらっ子広場

松林小はむらっ子広場

Q 普段どのような活動をしていますか？

A 「まつりんぼうけんやま」や砂場での遊びがはやっています。6月からは「松林小はむらっ子広場」の伝統遊び「ザリガニ釣り」が復活し、日々の活動に盛り上がりを見せています！帰りの会では、火曜日に「クイズ大会」、木曜日には「紙芝居」等を実施しています。

Q お子さんの様子を教えてください。

A 皆、元氣いっぱい遊んでいます。1年生の歓迎会では、飾り作りや紙芝居と一緒にやりました。

Q 一言PRをお願いします。

A 地域ボランティアの協力を得ながら、誰でも参加しやすい「はむらっ子広場」づくりを目指して指導員みんな頑張っています。ぜひ、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。



▶松林小はむらっ子広場

小作台小はむらっ子広場

Q 普段どのような活動をしていますか？

A 外遊びをすることが多いです。子供たちは、自由に考えて遊んでいます。教室内のイベントとして、季節ごとの工作もしており、今年は「季節のカレンダー制作」をしています！

Q お子さんの様子を教えてください。

A 多くの子供が必ず宿題をしてから遊んでいます。また、外遊びが好きな、元気な子供が多いです。雨天のため外で遊べない日は、紙の空箱などを使って、自由な工作遊びをするのがはやっていきます。

Q 一言PRをお願いします。

A 「はむらっ子広場」は少しの時間でも、異なる学年の子供たちで交流ができる特色があります。お家で一人にいる子、参加を迷われている子、参加をお待ちしています！



▲小作台小はむらっ子広場



▲詳しくはこちら(市公式サイト)



▲登録申込フォームはこちら

ぜひ、登録してください！

放課後子ども教室「はむらっ子広場」ボランティア募集

子供たちの放課後の活動をサポートするボランティアを募集しています。得意なことと一緒に遊ぶなど、子供との関わるのが好きな方の御応募をお待ちしています。

申込み

申込フォーム、又は直接、生涯学習推進課（プリモホールゆとろぎ）へ連絡してください。面談で希望する活動内容や活動場所などを伺います。

保険加入

賠償責任保険と傷害保険がセットになったボランティア保険に加入し、もしもの事故に備えます（個人負担はありません）。



▲ボランティア申込フォーム

【問合せ】生涯学習推進課 ☎570-0707

「プリモホールゆとりぎ」から

【問合せ】生涯学習推進課

☎570-0707

子供のクリエイティブ体験事業

合同吹奏楽コンサート

日時：7月12日(日) 【開場】午後0時30分

【開演】午後1時30分

会場：大ホール

入場料：無料 ※ゆとりぎで配布中

定員：650人

出演：富士見小学校金管バンド部、東京ミッドウエスト吹奏楽団ジュニア部、

日本航空高等学校石川吹奏楽団・ダンス部、青梅市青少年吹奏楽団、羽村市吹奏楽団

※当日は吹奏楽体験、能登半島復興支援の募金を行います。

第11回

HAMURAMEリーリボン演劇祭

日時：7月18日(土)・19日(日) 【開場】午前11時30分

【開演】午前11時50分

会場：小ホール

出演：劇団銀のすず2号、演劇Lab. 宙風、劇団Comet(羽村市立中学校演劇部)、劇団眼鏡吟遊書店、木村明子、都立青梅総合高等学校演劇部、都立五日市高等学校演劇部、都立羽村高等学校演劇部、都立福生高等学校演劇部、朗読劇の会ひびき(五十音順)

定員：252人

入場料：無料

※申込不要、直接会場へ

※未就学児入場不可

※各団体の出演時間は、市公式サイトで確認してください。



▲各団体の出演時間(市公式サイト)



詳しくはこちら(市公式サイト)▶



▲春風亭小朝(左)、島田歌穂(中央)、小原孝(右)

出演：春風亭小朝、島田歌穂、小原孝、他
 ※7月4日(土)からゆとりぎ窓口、又はゆとりぎインターネットチケットサービスで発売
 ※当公演は、宝くじの助成により特別料金で御案内しております。

日時：9月26日(土) 【開場】午後1時15分

【開演】午後2時

会場：大ホール

入場料：【一般】2,500円、【高校生以下】1,500円

宝くじおしゃべり音楽館

～想いのスクリーンミュージック～

一度は聞いたことのある映画音楽の名曲を、曲間でのナビゲータのトークを交えながらお届けします。

日時：8月22日(土)

【開場】午後0時30分

【開演】午後1時

会場：大ホール

定員：539人(全席指定) ※未就学児入場不可

入場料：500円 ※ゆとりぎで販売中

企画・運営：ゆとりぎ協働事業運営市民の会

～夏休み学習の場&フリースペースとして～

創作室を開放します

期間 7月下旬～8月末

月曜休館、ただし祝日の場合は開館し、翌平日が休館となります。

時間 午前9時～午後5時

※開放日は、一般利用がない日です。詳しくは、市公式サイトを御覧ください。

静かに学習したり、フリースペースではおしゃべりやゲームもできます。

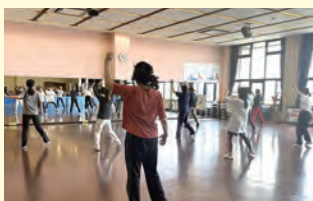


イベントニュース

レッツ チャレンジ！ はじめてのエアロビクス♪

6月の毎週土曜日(全4回)、トレーニングルームで、『レッツチャレンジ！ はじめてのエアロビクス』を実施しました。エアロビクスは、音楽に合わせて体を動かし、全身のシェイプアップや脳の活性化にもつながる有酸素運動です。

今回は、運動初心者向けの内容を実施しました。



トレーニングルームでは、日替わりでスタジオプログラムを実施しています。今回のイベントに参加できなかった方も、初心者向け「ビギナーエアロビクス」(毎週火・土曜日午前9時45分～午前10時45分)にぜひ参加してください。

また、音に合わせて踏み台を昇り降りする「ステップ」の初心者向けイベントも、11月に実施予定です。詳しくは、「広報はむら」や市公式サイトでお知らせします。

トレーニングルームの利用、スタジオプログラムについて(市公式サイト)▶



【問合せ】スポーツ推進課 ☎555-0033

「S&Dスポーツ

アリーナ羽村」から

「プリモライブラリーはむら」から

「家読」始めてみませんか

「家読」とは「家族ふれあい読書」の略語で、「うちごと」と読みます。

家族で同じ本を読んだり同じ時間に読書したり、本を活用して交流の時間を増やし、絆を深める活動を「家読」と呼んでいます。

◆家読の効果は？

- ①本を読むきっかけをつくる。
- ②家族で同じ時間を共有できる。
- ③家族内のコミュニケーションが増え、絆が深まる。

◆どんなことをすればいいの？

- ①同じ本を家族で読む時間を作って楽しむ。
- ・読み聞かせ
- ・家族でおはなし会

- ②家族で読書の時間を決めて、同じ時間にそれぞれ読みたい本を読んで、感想を教え合う。

- ・子供が選んだ本を大人も読んでみる。
- ・子供が選んだ本と同じ分野の本を読んでみる。

「家読」のやり方に決まりはありません。子供が読書習慣を身に付けるには、「本を読むのが楽しい。」と感じることが大切です。

毎日でなくていいので、子供と本を楽しむ時間をもってみませんか。



- ③読書手帳を活用する。

「よむちよ」、「読書手帳」に読んだ本の記録をつけて、時々振り返ってみてはいかがでしょうか。

◆どんな本を選べばいいの？

- ①図書館でお勧めの本を「うちごとセット」にして用意しています。気軽に探すことができます。

- ②図書館作成の「おすすめ本のリスト」もあります。

- ・赤ちゃん・幼児向け「よんでよんで」
- ・小学生向け「ほんととあそぼう」「みどりのまど」
- ・中学生・高校生向け「ヤングスクラッチ」



▶「家読コーナー」の展示の様子



▲子育て支援について（図書館公式サイト）

「郷土博物館」から

江戸時代の羽村堰の構造について②

羽村堰は、今から373年前の承応二年（1653年）に多摩川から玉川上水へ取水するために造られました。

電気や建設機械もまだない時代に、先人たちの創意工夫が大工事を可能としました。築造当時の羽村堰の構造やそこに込められた土木・治水技術の一部を紹介します。

横堰

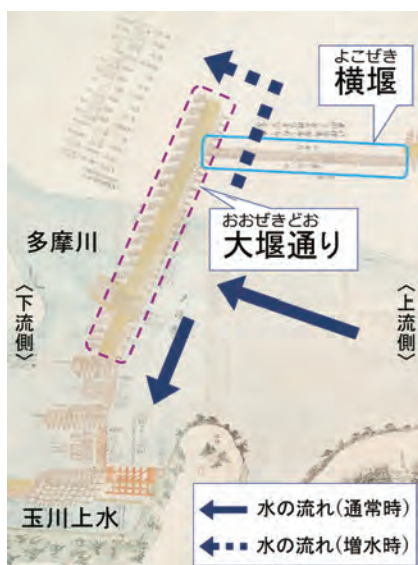
三角枠が横一列に並べられており、堰の他の部分よりも簡単な造りをしています。

大雨などで多摩川が増水した際には、この部分から水流を逃がし、水門へ向かう水の勢いを抑える役割があります。

大堰通り

横堰から続く部分で、普段は水門へ水を導く役割や、川底が水流に削られて低くなることを防ぐ役割、川の流れの場所を維持する役割を担っていました。

さらに、増水時には水流の勢いを弱める役割があり、多機能な構造となっています。



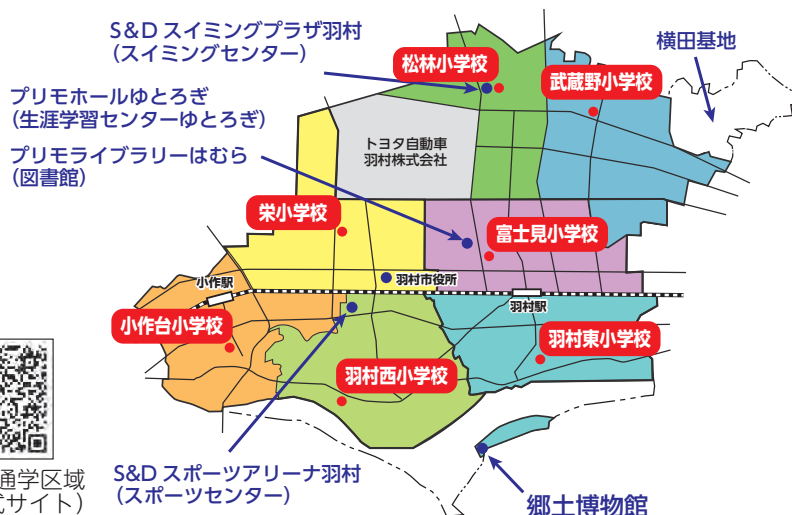
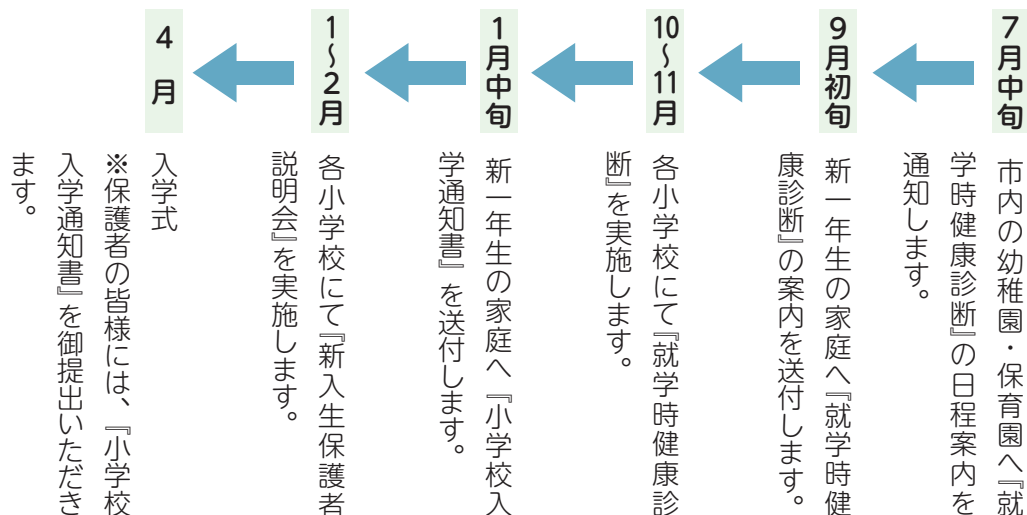
▲横堰(青の実線で囲んだ部分)と大堰通り(紫色の破線で囲んだ部分)『上水記』第2巻(東京都水道歴史館所蔵)を加工

【問合せ】 図書館 ☎554-2280

【問合せ】 郷土博物館 ☎558-2561

学務係からのお知らせ

【問合せ】学校教育課学務係(内線356～358)

小学校入学までの
流れについて

羽村市では住所によって入学する指定学校が決められています。それぞれの学校の学区は、住所によって定められています。左記略図は、目安として御確認ください。

また、お住まいがどの学校の学区に指定されているかは、市公式サイトに掲載しています。御覧いただくか、学校教育課学務係までお問合せください。



▲小学校通学区
(市公式サイト)

学校行事などに要する経費 保護者負担軽減について

市立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学校行事などに要する経費の一部について補助金を支出し、保護者負担軽減と小・中学校教育の充実を図っています。

対象項目	対象学年	軽減額
副教材費	小学校全児童	680 円／毎年
	中学校全生徒	800 円／毎年
日本スポーツ振興センター負担金 (学校管理下における災害共済掛け金)	小学校全児童 中学校全生徒	935 円／毎年
音楽会等参加費・交通費	小学校対象児童	基準により支出／毎年
演劇鑑賞教室補助金	小学校全児童	420 円／毎年
社会科見学バス借上料	小学校 4 年又は 6 年生 (在学中 1 回)	全額
課外部活動大会参加費・生徒派遣費	中学校対象生徒	基準により支出／毎年
移動教室等(修学旅行)補助金	小学校 5 年生	3,000 円
	小学校 6 年生	5,000 円
	中学校 1 年生	5,000 円
	中学校 3 年生	10,000 円
卒業記念品代補助金	小学校 6 年生	1,500 円
	中学校 3 年生	1,800 円

就学援助費の申請について

市内に住所を有する児童・生徒の保護者のうち、経済的な理由により教育費の支出が困難な方に対し、所得に応じて教育費の一部を援助します。今年度の申請は随時受付していますので、希望する方は申請してください。



▲就学援助制度
(市公式サイト)

特別支援教育講演会のお知らせ

「特性のある子供の成長に向けた大人の関わり方」

近年、発達障害等の特性のある子供が増加しています。子供たちの成長を支える大人は、どのように関わっていく必要があるのでしょうか。本講演では、教室内における子供たちへの指導法をはじめ、学校や家庭において、子供を理解し支援する上で大切な視点や、成長を支えるために必要な大人の関わり方等についてお話していただきます。

日時 8月25日(火) 午前10時～正午
場所 プリモホールゆとりぞき
レセプションホール

定員 90人(事前申込)

申込開始 7月6日(月) 午前9時～

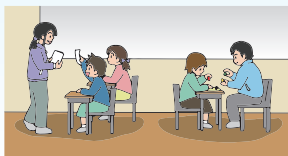
申込方法 電話、又は二次元コードの申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。

講師 東京学芸大学学生支援センター・教職大学院 准教授

小林 玄 氏



▲講演会申込フォーム



【問合せ】教育支援課

特別支援教育係(内線359)

「社会教育委員の会議」から教育委員会へ答申を提出しました

羽村市社会教育委員の会議は、令和7年10月30日に教育委員会から「第二次羽村市生涯学習基本計画後期基本計画策定に向けた羽村市の生涯学習に対する意見聴取」について諮問を受けました。令和7年10月から令和8年2月まで、延べ4回にわたり審議を進め、令和8年3月25日に答申を提出しました。



▲(右から)川津議長、
儘田教育長、江上副議長



▲答申内容の詳細はこちら
(市公式サイト)

【問合せ】生涯学習推進課

☎57000707

高等学校・大学等の入学に向けた奨学金制度について

高等学校や大学等の入学金、授業料等に係る奨学金制度を市公式サイトや窓口で案内しています。

詳しくは、問い合わせてください。



▲奨学金制度
(市公式サイト)

〈主な制度〉

・羽村市入学資金融資制度
・東京都育英資金
・国の教育ローン など

【問合せ】生涯学習総務課総務係(内線354)

教育随想

教授錯覚の戒め

「教授錯覚」とは、自分が理解していることは相手も理解できているはずだと思い込み、教わる側の立場や理解の過程を十分に想像できなくなることを指します。小・中学校や高等学校の教員とは異なり、大学教員になるためには必ずしも教員免許が必要ありません。私は歯科大学で40年間教鞭を執ってきましたが、大学院を修了して教員になった当時は、教育学に関する知識も教育技術もほとんど持ち合わせていませんでした。当時は、「患者は医師に任せておけばよい。」という考え方がまだ色濃く残っていた時代でもあり、教育やコミュニケーションの重要性が現在ほど重視されていなかったことも事実です。現在では、医療系大学においても教育学やコミュニケーションに関する学びの機会が設けられ、教育者としての資質向上が求められるようになっています。

私が大学の幹部教員となった頃、歯科医師養成機関の指導的立場にある教員を対象とした教育研修に参加する機会がありました。富士山麓の研修施設に約1週間滞在し、朝から晩まで討論や発表を繰り返す集中型のワークショップでした。その研修で初めて耳にした言葉が「教授錯覚」でした。

この概念に触れたとき、私は大きな衝撃を受けました。それまで担当してきた学生たちの中には、私の意図とは裏腹に、授業についていけず、十分に理解できないまま取り残されていた学生がいたのではないかと考えたからです。教員として「教えた。」という事実と、学生が「学んだ。」という事実とは必ずしも一致しないことに、改めて気付かされたのです。

教授錯覚は、教育の場面だけでなく、日常生活のあらゆるコミュニケーションにおいて起こり得ます。そのため私は、自分なりの予防策として三つのことを心掛けています。

第一に、相手に「分かりましたか。」と安易に尋ねないことです。教わる側は遠慮や気遣いから、本当は理解できていなくても「はい。」と答えてしまうことが少なくありません。

第二に、伝える内容をできるだけ整理し、簡潔にすることです。人が一度に理解し、記憶できる情報量には限界があります。重要なポイントを絞り込み、分かりやすく伝えることが大切です。

第三に、初心を忘れないことです。自分が学習者だった頃を常に思い出し、「当時の自分なら、この説明で本当に理解できるだろうか。」と自問するようになっています。しかし、これらのことを心掛けていても、教授錯覚を完全に防ぐことはできません。だからこそ、教える者は常に謙虚でなければならぬと思います。教えることは知識を伝える行為であると同時に、自らの教育を振り返り、学び続ける営みでもあります。

教授錯覚の存在を忘れず、学習者の立場に寄り添いながら、教えるながら学び続ける姿勢こそが、教育者にとって最も大切な心構えであると、私は考えています。



教育長職務代理者

羽村 章

特定非営利活動法人羽村市スポーツ協会及び羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人

羽村市スポーツ協会

TEL 555-11698

令和8年度通常総会を開催しました

5月16日(土)、プリモホールゆとろぎ小ホールにおいて、令和8年度通常総会を開催しました。

- (1) 令和7年度事業報告
- (2) 令和7年度決算報告及び監査報告
- (3) 令和8年度理事及び監事の選任(案)
- (4) 令和8年度事業計画(案)
- (5) 令和8年度活動予算書(案)

令和7年度の事業報告や決算・監査報告、組織のスリム化等を図るための役員・理事の人数を削減した理事・監事の選任案、令和8年度の事業計画案や活動予算書案の全ての議事が満場一致で承認されました。

【役員】

会長 中溝 正治
副会長 中根 透

本田 文栄(事務理事兼任)
山下 博彦(常務理事兼任)
議事終了後、「羽村市スポーツ協会表彰
規程」に基づく表彰式を行いました。



▲通常総会の様子

○体育功労者

長年にわたり、加盟団体においてスポーツの指導と振興等に貢献し、功労が顕著な者

軟式野球連盟 枝窪 基さん
バレーボール連盟 助廣 典子さん
サッカー協会 寺島 昌三さん

○スポーツ功労者

一定規模以上のスポーツ大会に出場し、優秀な成績を挙げた者

陸上競技クラブ 眞鍋 憲弘さん
井上 莉里加さん
木立 悠さん

羽村市文化協会

TEL 579-12772

令和8年度定期総会を開催しました

5月23日(土)、プリモホールゆとろぎ小ホールにおいて、令和8年度定期総会を開催しました。本年度も第57回羽村市文化祭を始め、役員一同、羽村市の芸術・文化を推進していきます。

- (1) 令和7年度事業報告
- (2) 令和7年度会計決算報告及び監査報告
- (3) 令和8年度役員、理事・会計監事選出(案)
- (4) 令和8年度事業計画(案)
- (5) 令和8年度会計予算(案)

※満場一致で承認されました。

【役員】(敬称略)

会長 成瀬 和子
副会長 濱中 俊男、高橋 修次、
橋本 久美子

会計 小山 洋子(事務局兼任)、
古川 秋子

常任理事 池永 貴代子、井上 寛子、
武藤 陽子、佐々木 康雄

理事 川上 初江、荒川 美穂、
永尾 雅子、中根 千恵子、
柴田 栄子、小林 美恵子、
結城 康一、小作 弘美、
赤池 桂子

会計監事 志田 保夫、
雨倉 千恵子

会計監事



「はむらの教育」を御覧になった意見・感想をお聞かせください

掲載内容の充実を図ることを目的として、御覧になった意見や感想をお聞かせください。
掲載した意見等は、今後の紙面作りの参考といたします。



意見等の
入力フォーム

INFORMATION

羽村市役所 (代表) Tel 555-1111

プリモホールゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
プリモライブラリーはむら(図書館)	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
S&Dスポーツアリーナ羽村 (スポーツセンター)	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
S&Dスイミングプラザ羽村 (スイミングセンター)	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 090-5258-1223 090-1406-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室 ハーモニースクールはむら	Tel 090-3237-1331